

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	16H06318	研究期間	平成28(2016)年度 ～令和2(2020)年度
研究課題名	「アフリカ潜在力」と現代世界の 困難の克服：人類の未来を展望す る総合的地域研究	研究代表者 (所属・職) (平成31年3月現在)	松田 素二 (京都大学・大学院文学研究科・ 教授)

【令和元(2019)年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、「アフリカ潜在力」の問題解決能力を現場から明らかにし、かつそれを理論化して人類社会共通の財産としての新しい人類知の抽出を目標とするものである。</p> <p>3研究系7共同研究班の研究組織は、12回の全体会議等を通じて連携が図られている。「アフリカ潜在力」の概念は、3回のアフリカフォーラムで「土着性」「普遍性」「未来性」をサブテーマとして議論が深められ、欧米のアフリカ学会や世界社会科学フォーラムなどで認知度が高まっているほか、日本での東南アジアやオセアニアに関する地域学会での比較検討も進んでいる。また、公開講座、新聞などを通じた社会への成果発信も十分に行われている。</p>		